西小だより

ホームページはこちら→

「強く　正しく　健やかに」　　令和3年　9月14日（火）第9号　校長　都外川　潔

今年度の校内研究…国語に力を入れています

私たち教職員は児童の学力を高めるために、日々の準備や指導の工夫をしています。

もちろんどの教科も大切なのですが、各校の児童の実態に応じて、特に力を入れて全教職員で取り組む内容を毎年決めます。これが、校内研究というものです。私たち西大村小学校では、今年度、次の研究主題のもと、校内研究を進めています。

> 【研究主題】
> 確かな学力を身に付け、豊かに表現することができる子供の育成
> ～国語科の読解力向上を図る授業改善を通して～

この内容に決めた理由は、前年度の児童の実態から次のような課題が残ったからです。

・初めて読む文章を読み取ること　・初めて読む文章から大事な言葉を選び出すこと

このことから、今年度は、各学年に応じた文章の読み取り力を身に付け、自分の考えや思いをわかりやすく表現できる児童の育成を目指すこととしました。

県・全国学力調査では、次のような課題が明らかになりました。

5月に、5・6年生を対象に長崎県学力調査と全国学力・学習状況調査が実施されました。

私は全員の採点を行いましたが、解答用紙からは児童が一生懸命取り組んだことが伝わってきました。ただ、国語科では「正しく読むこと」についての課題も感じました。

例えば、全国学力調査ではつぎのような問題がありました。

> 「時には、みんなが使っていた一輪車がかたづけられずに残されています。」
> 「残されています」の主語として適切なものを1～4から選びましょう。
> 1　みんなが　　2　使っていた　　3　一輪車が　　4　かたづけられずに

この問題の正答は3ですが、正答率は約63％でした。主語と述語を学習するのは2年生からであることを考えると、もっとできていてもよいのでは…と思います。こうした基礎的内容の改善からまずは始めようと思い、本校教職員には「国語の授業の中で、意図的に主語・述語についてたずねてみてください」と話しています。また、2年生から6年生を対象に、国語版の「前学年の復習プリント」を夏季休業中に作成しました。2学期は、このプリントを活用して、一人一人の苦手な分野の改善に取り組んでいきます。このプリントは、近々、本校ホームページにも掲載します。（「トップページ」→「お知らせ」→「令和3年度」の中に各種学習プリントのデータがあります。）